

■ 株主メモ

証券コード	7716
事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会議決権行使の基準日 12月31日 期末配当金の基準日 12月31日 中間配当金の基準日 6月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載します。ただし、やむを得ない事由によって電子公告することが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
お知らせ	● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 ● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

BUSINESS REPORT

第69期決算期

2020年1月1日～2020年12月31日

株式会社ナカニシ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度は、新型コロナウイルス・パンデミックによって事業環境が激しく変動した一年となりました。4月以降に世界各都市で行われたロックダウンによって、歯科医院の休業、病院での不要不急の手術件数の減少、各産業の工場の稼働率の低下が相次ぎ、上半期、特に第2四半期は、売上が前年同期に比べ大幅に落ち込みました。一方、ロックダウンが解除された下半期には、歯科用ハンドピースのリバウンド需要や歯科医院での感染対策強化ニーズが全世界的に立ち上がったことで、業績は大きく好転しました。通期では、残念ながら減収減益となりましたが、コロナ禍という未曾有の危機下において、想定以上の好結果を残せたと思います。

世界各都市がロックダウンに入ってから以降、当社グループの海外現地法人15社は、従業員の健康・安全を第一に、営業活動を一度も絶やすことなく継続したことで、お客様から絶大なる信頼を獲得し、同時に当社のブランド力を飛躍的に高めることが出来ました。その結果として、特に欧米市場で当社製品のシェアを大幅に拡大することが出来ました。

きたる2030年、当社は創業100周年を迎えます。100年企業という重要な節目を迎えるにあたり、当社が目指すべき姿として長期ビジョン「VISION2030」を昨年2月に策定しました。ビジョンに掲げた『ダントツの最優良グローバル医療機器メーカー』の実現のために、その第一ステージとして中期経営計画「NV2025」を現在遂行中です。2021年度も新型コロナウイルスの影響が続いており、先行き不透明感は拭えませんが、「NV2025」の目標達成を目指して、世界に広がる当社グループ全従業員が密に連携し、ONE TEAMとなって前進し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の成長にご期待頂くとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員

中西 英一

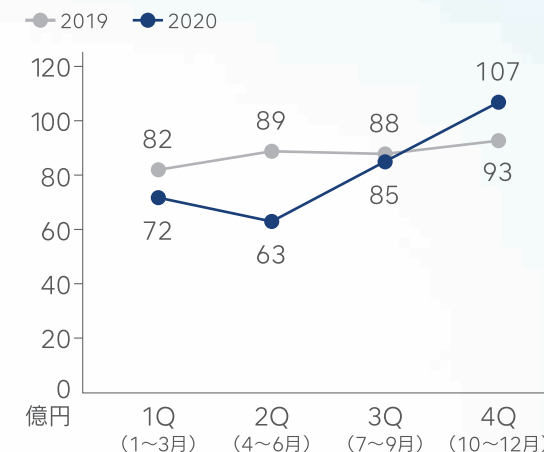



2020年度の業績について

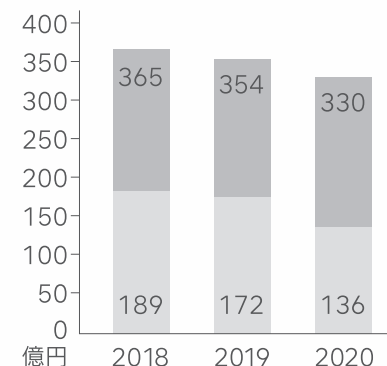
2020年度は、新型コロナウイルスの世界的流行による影響から上半期の業績が大きく落ち込んだものの、下半期に入って業績の回復が進み、特に第4四半期には売上高が前年同期を大幅に上回りました。その結果、通期の売上高は前期比6.7%減の330億円まで持ち直すことが出来ました。

下半期の売上回復に伴う利益の増加や経費削減等によって利益減少を下支えしたものの、営業利益は同比8.1%減の85億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同比9.1%減の64億円となりました。

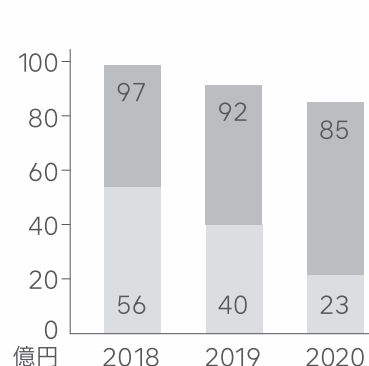
四半期毎の連結売上高の推移



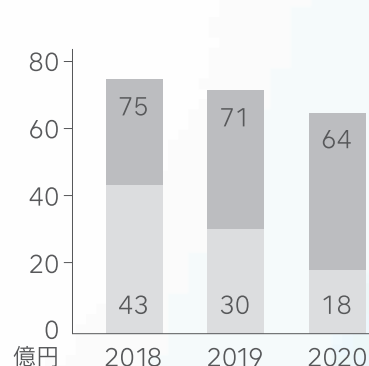
■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



■ 第2四半期(累計) ■ 通期(累計)



歯科製品関連事業の概況について

世界各都市で行われたロックダウンの影響で、第2四半期に歯科治療器具の需要が大幅に縮小しましたが、ロックダウン解除後には急速に回復しました。コロナ禍によって歯科医師・患者双方から歯科治療における感染対策への関心が非常に高まり、これらを背景にして滅菌器（オートクレーブ）や歯科治療用ハンドピースの買い増し需要が世界的に大きく立ち上がりました。

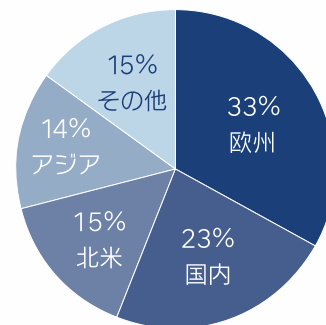
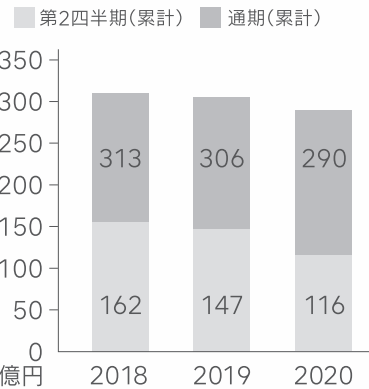
[欧州] 欧州市場の売上高は前期比2.3%減の95億円となりました。ロックダウン明けに立ち上がったリバウンド需要や、感染対策強化に係るニーズを取り込んだ現地法人の販売は前期を上回りましたが、OEMビジネスが在庫調整のために大幅に落ち込み、欧州全体では減収となりました。

[国内] 国内市場の売上高は前期比13.0%増の67億円となりました。政府による歯科医院への感染対策助成金を背景に、8月以降、滅菌器やハンドピースの特需が起り、下半期の売上を大幅に押し上げました。一方、国内OEMビジネスは低調に推移しました。

[北米] 北米市場の売上高は前期比24.1%減の41億円となりました。下半期から現地法人の売上が大きく回復し、米国のハンドピース市場においては、約2ポイントのシェアアップを実現しました。一方、OEMビジネスの売上が約3割減となり、北米全体では大幅な減収となりました。

[アジア] アジア市場の売上高は前期比5.0%減の41億円となりました。東南アジア諸国で低調に推移したものの、中国が前期比約3割増と大幅に伸長したことで、売上減少を下支えしました。

[その他] その他地域の売上高は前期比12.0%減の44億円となりました。ロシアは増収、南米は前期並みとなりましたが、中近東や豪州が落ち込みました。



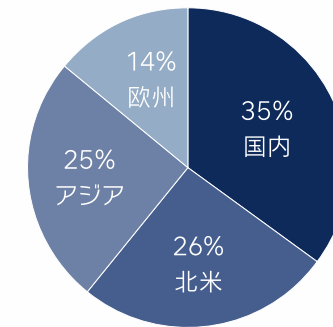
歯科製品関連事業
2020年度
地域別売上高比率

メディカル事業の概況について *メディカル事業の業績は歯科製品関連事業に包含

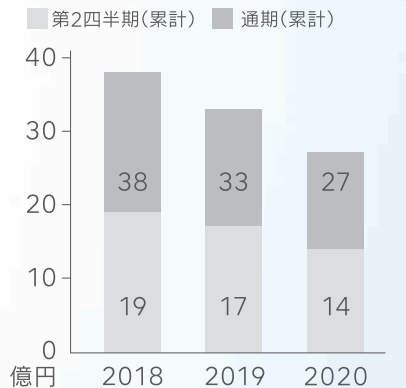
コロナ禍によって、世界各地の病院では手術件数の減少や、設備投資計画の凍結・延期が相次ぎ、メディカル事業の事業環境は非常に厳しいものとなりました。世界各都市のロックダウンや国内での緊急事態宣言に伴う外出自粛要請によって、従前からの対面形式による営業活動には大きな制約が生じましたが、デジタルマーケティング活動へのシフトを加速させ、新製品を軸にした販促活動を展開しました。その結果、欧州・中国市場で増収となったほか、国内市場の売上高も前期並みと好結果を残すことが出来ました。一方、中国を除いたアジア・中近東・中南米等の各市場においては、感染拡大が深刻な状況が続いたことで、売上は落ち込みました。

工業製品関連事業の概況について

工業製品関連事業においては、かねてからの米中貿易摩擦問題で投資意欲が停滞していた中、新型コロナウイルス・パンデミックが重なったことで、上半期は世界的に設備投資意欲が大きく減退しました。一方、いち早くコロナ収束に向かった中国市場においては、5G関連投資も追い風となり販売が伸長しました。下半期からは自動車産業や半導体製造等、製造業の多くの分野で、設備投資案件が復調の兆しを見せ始めましたが、通期では大幅な減収となりました。



工業製品関連事業
2020年度
地域別売上高比率



中期経営計画「NV2025」-2020年度の進捗

当社は創業100周年を迎える2030年に向けて長期ビジョン「VISION2030」を策定し、歯科製品を含めた医療機器のグローバル市場において『ダントツの最優良グローバル医療機器メーカー』になることを目指しています。このビジョンの実現に向けた第一ステージとして2020年度から25年度までの6カ年の中期経営計画「NV2025」を策定し、遂行しています。

中期経営計画「NV2025」	2020年度の進捗
<p>基本方針と重点施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ テンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大 ◎ 超高齢化のニーズに応える新規事業の育成 ◎スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり <p>2025年度収益目標</p> <p>売上高 500億円 営業利益率 28%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ コロナ禍の影響が大きく、減収減益に ◎ 中国市場では大幅増収に ◎ 米国市場で自社ブランドのシェア拡大 ◎ 歯科・メディカル・工業分野で新製品を上市 ◎ 下半期の需要急増にも増産対応 <p>第4四半期の急回復により、減収減益幅は想定に比べてかなり抑えられた</p> <p>日本・欧州・米国等で市場シェアの顕著な拡大を実現できた</p>

*中期経営計画「NV2025」の詳しい内容につきましては [ナカニシNV2025](#) で検索 🔍

2021年度の基本戦略

2021年市場動向の予測		
歯科製品関連事業	メディカル事業	工業製品関連事業
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 感染予防対策に関する需要が全世界的に継続 ◎ インプラント・予防歯科関連需要が急速に回復 	<p>コロナ禍による影響が残り手術件数の減少傾向続く</p>	<p>自動車や半導体等の製造業は急回復しており需要回復</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 主力のハンドピースおよび滅菌器を拡販 ◎ インプラント治療機器・予防歯科製品を拡販 ◎ 北米・中国での販売強化 <p>新製品 S-Max M micro / iClave mini2 Surgic Pro2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 中国・インドでの拡販 ◎ 北米で新製品を軸に拡販 <p>新製品 スリムアタッチメント300 スタンダードアタッチメント300</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自動化・省力化の提案 ◎ 5G関連需要取り込み <p>新製品 NR33-6000ATC-ESD シーナスZERO</p>

2021年度の業績予想

新型コロナウイルスの感染収束の兆しは見えず、事業環境の先行きが不透明な状況が続くものと想定していますが、歯科製品関連市場においては感染予防対策ニーズを取り込むことで増収を目指します。工業製品関連事業においても、製造業の設備投資が回復傾向にあり、これら需要を最大限取り込んでまいります。売上増加に伴って利益も増加するものの、新製品に係る販促費や人件費の増加を見込んでおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期並みとなる見通しです。

売上高	351億円	前期比 +6.2%
営業利益	85億円	前期比 +0.1%
経常利益	88億円	前期比 +2.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	64億円	前期比 -0.1%

■ 想定為替レート

1USDドル	100円	1ユーロ	120円
--------	------	------	------

2020年度に上市した新製品群

中期経営計画の第1事業年度である2020年度においては、コロナ禍によって事業環境が激変しましたが、これらのピンチをチャンスに変えるべく、歯科・メディカル・工業の各事業分野において競争力の高い新製品を次々に上市しました。これらの革新的な新製品を軸にして、各事業分野でさらなる市場シェア拡大を図ってまいります。

2月 **メディカル事業**
スリムアタッチメント300
脳外科手術用機器アタッチメント



4月 **メディカル事業**
スタンダードアタッチメント300
脳外科手術用機器アタッチメント



7月 **工業製品関連事業**
NR33-6000ATC-ESD
静電気帯電防止スピンドル



8月 **工業製品関連事業**
シーナスZERO
超音波を用いた研磨装置



10月 **歯科製品関連事業**
iClave mini2
高圧蒸気滅菌器(オートクレーブ)



11月 **歯科製品関連事業**
S-Max M micro
歯科治療用ハンドピース



インプラント治療用マイクロモータシステム Surgic Pro2 2021年2月・欧州市場で発売

新型コロナウイルス感染拡大によって、世界の歯科市場は昨年大幅に縮小しましたが、インプラント市場では下半期の後半から富裕層による健康投資の拡大を背景に、欧米・中国を中心に世界各地で需要が急回復しました。このような中、当社はインプラント治療用モータの世界市場でトップシェアを誇る当社旗艦製品「Surgic Pro」の次世代モデルとして、「Surgic Pro2」を欧州市場で先行発売しました。各国の医療機器関連の法規制に対応しながら、国内・北米等を含めた世界市場に順次展開していく予定です。今後とも高い成長が見込めるインプラント市場において、さらなるシェア拡大を図っていきます。

- ◎ 操作性を向上させた先進的デザイン
- ◎ 軽量化・小型化したマイクロモータ
- ◎ ワイヤレス接続性の拡張(Bluetooth)
 - ハンズフリーを支援するフットコントローラ
 - インプラント定着度測定器(Osseo 100+)
 - 超音波・骨切削機器(Vario Surg3)
 - タブレット端末(手術ログを一元管理・保存)



株主還元について

2020年度の配当実績

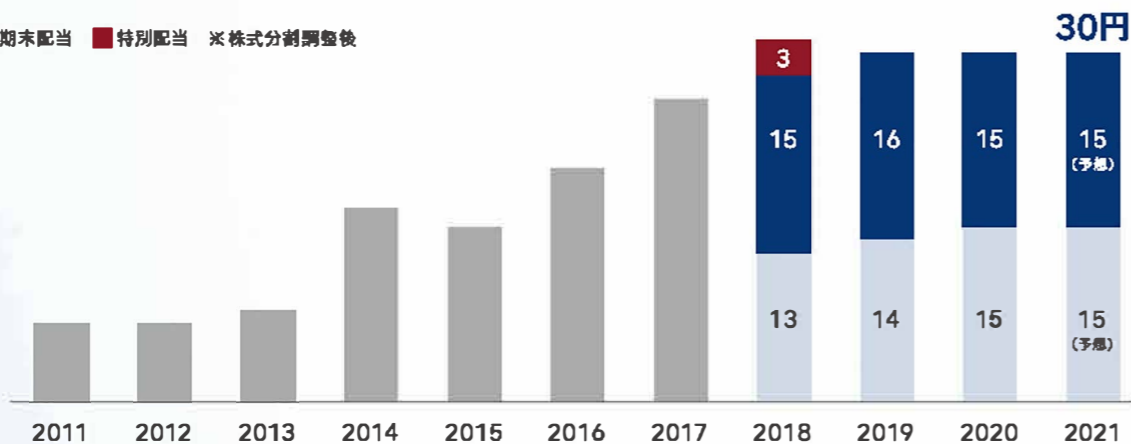
当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の1つと認識し、市場動向や事業展開に備えた内部留保等を勘案した上で、安定的に配当を継続することを基本方針としています。2020年度の期末配当につきましては公表していた配当予想とおり1株当たり15円とさせて頂きました。これにより2020年度の年間配当金の総額は、既にお支払いしている中間配当金15円と合わせ、1株当たり30円となりました。

2021年度の配当予想

新型コロナウイルス感染症は収束に至っておらず経営環境の先行きに不透明感が残るものの、歯科医療の必要性や当社事業の中長期的な成長性に大きな変化はないものと考えております。このような状況を踏まえ2021年度の配当予想につきましては、中間配当・期末配当ともに1株当たり15円、年間配当金総額は30円(連結配当性向 40.3%)とさせて頂きました。

2021年12月期 年間配当金予想 1株当たり 30円

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 特別配当 ※ 株式分割調整後



EPS(円)	51.96	48.42	53.61	79.33	71.22	61.15	84.75	87.59	81.97	74.49	74.45
配当性向(%)	12.8	13.8	14.9	21.0	21.1	32.7	30.7	35.4	36.6	40.3	40.3

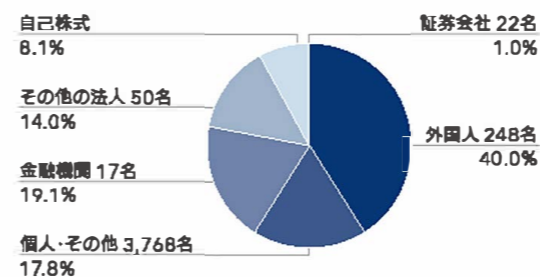
株式の状況 (2020年12月31日現在)

■ 発行可能株式総数 …… 375,000,000株

■ 発行済株式の総数 …… 94,259,400株

■ 株主数 …… 4,106名

株式分布状況



大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストアイ銀行(信託口)	4,637千株	5.4%
ナカニシE&N株式会社	4,530千株	5.2%
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,001千株	4.6%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,470千株	4.0%
株式会社オフィスナカニシ	3,120千株	3.6%
公益財団法人NSKナカニシ財団	3,021千株	3.4%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,958千株	3.4%
中西英一	2,814千株	3.2%
中西賢介	2,806千株	3.2%
中西康介	2,781千株	3.2%
中西千代	2,781千株	3.2%

(注) 1. 当社は、自己株式を7,602千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2020年12月31日現在)

社名	株式会社ナカニシ
設立	1951年2月
代表者	代表取締役社長執行役員 中西英一
資本金	867,948,542円
従業員数	1,184名(連結)
本社	栃木県鹿沼市下日向700番地
事業所	本社・工場 東京事務所 大阪事務所
主要関係会社	NSK-America Corp.(アメリカ) NSK Europe GmbH(ドイツ) NSK France S.A.S.(フランス) NSK United Kingdom Ltd.(イギリス) NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン) NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア) NSK Shanghai Co., Ltd.(中国) NSK Dental Italy S.r.l.(イタリア) NSK Dental Korea Co., Ltd.(韓国) NSK America Latina Ltda.(ブラジル) Integration Diagnostics Sweden AB(スウェーデン) NSK RUS LLC(ロシア)
主要取引銀行	足利銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行

役員	代表取締役社長執行役員	中西英一
(2021年3月30日現在)	代表取締役社長執行役員	中西賢介
取締役専務執行役員	鈴木正孝	
取締役	野長瀬 裕二	
取締役	鈴木 布佐人	
取締役	荒木 由季子	
常勤監査役	豊玉 英樹	
監査役	澤田 雄二	
監査役	尾来 龍弘	

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二、鈴木布佐人、荒木由季子は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、澤田雄二、尾来龍弘は社外監査役です。